

平成26(2014)年度決算報告

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、教育研究等の諸活動に要する1年間の資金の収入・支出をみるもので支出に対する収入がどのよう
に調達されているかわかります。また、借入金や固定資産等が全体の収支にどのよう影響しているかわかります。

平成26年度収入は10,485百万円、支出は10,609百万円となりました。当年度収支差額は、次年度入学生の授業料前受金
収入の増加等から予算を570百万円上回りました。

(収入の部)		(単位:百万円)		
科目	予算	決算	差異	
学生から納入された学費などです。	6,870	6,857	13	
文部科学省等から交付される経常費補助金などです。	110	134	△24	
現金、有価証券の利息・配当金などです。	16	18	△2	
有価証券売却収入です。	1,134	1,118	16	
平成26年度に納入された平成27年度入学生分の学費などです。	164	129	35	
期末未収入金および前期末前受金です。	1,488	1,488	0	
	66	83	△17	
	164	192	△28	
	1,100	1,586	△486	
	458	493	△35	
	△1,650	△1,613	△37	
当年度資金収入合計	9,920	10,485	△565	
前年度繰越支払資金	3,765	3,765		
収入の部合計	13,685	14,250	△565	
(支出の部)		(単位:百万円)		
科目	予算	決算	差異	
教育研究のために支出する経費です。	4,074	4,073	1	
法人の管理運営、学生募集に支出する経費です。	2,542	2,419	123	
建物、構築物等、施設を取得するための支出です。	743	719	24	
有価証券を購入する支出です。	22	20	2	
期末未払金および前期末前払金です。	154	154	0	
	2,235	2,250	△15	
	673	744	△71	
	0	5	△5	
	899	907	△8	
	△728	△682	△46	
当年度資金支出合計	10,614	10,609	5	
次年度繰越支払資金	3,071	3,641	△570	
支出の部合計	13,685	14,250	△565	
当年度資金収支差額	△694	△124	△570	

2. 消費収支計算書

消費収支計算書は、毎年度の経営状況を示すものです。消費支出は、学校法人が教育研究等の諸活動に使用
する取得価額の対価であり、消費収入は、消費支出に充てる収入で負債性のない収入(帰属収入)から資本的支出
(基本金組入額)を除いたものです。
消費収入と消費支出を対比することにより、収入超過か支出超過かわかります。

帰属収入は、予算対比13百万円の減少し6,857百万円となりました。支出面は経費削減等により予算を195百万円下回る
8,587百万円となりました。この結果、帰属収支差額は48百万円の支出超過となりました。

(収入の部)		(単位:百万円)		
科目	予算	決算	差異	
一般寄付金および特別寄付金に加え、科学研究費補助金等により購入した機器備品および寄贈された物品である現物寄付金が含まれます。	6,870	6,857	13	
学校法人が、教育研究活動等諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入から組み入れた金額です。	110	134	△24	
	22	20	2	
	1,134	1,118	16	
	164	129	35	
	6	6	0	
	66	83	△17	
	164	192	△28	
帰属収入合計	8,536	8,539	△3	
基本金組入額合計	△3,029	△3,091	62	
消費収入の部合計	5,507	5,448	59	
(支出の部)		(単位:百万円)		
科目	予算	決算	差異	
不要となった資産の除却損、有価証券の評価損等です。	4,206	4,206	0	
帰属収入合計から消費支出の部合計を差し引いた金額です。	3,681	3,586	95	
	(1,139)	(1,166)	(△27)	
	803	753	50	
	(60)	(34)	(26)	
	22	20	2	
	70	22	48	
消費支出の部合計	8,782	8,587	195	
帰属収支差額	△246	△48	△198	
帰属収支差額比率	△2.9%	△0.6%	△2.3%	
当年度消費支出超過額	△3,275	△3,139		
前年度繰越消費支出超過額	△9,849	△9,845		
翌年度繰越消費支出超過額	△13,124	△12,984		

3. 貸借対照表

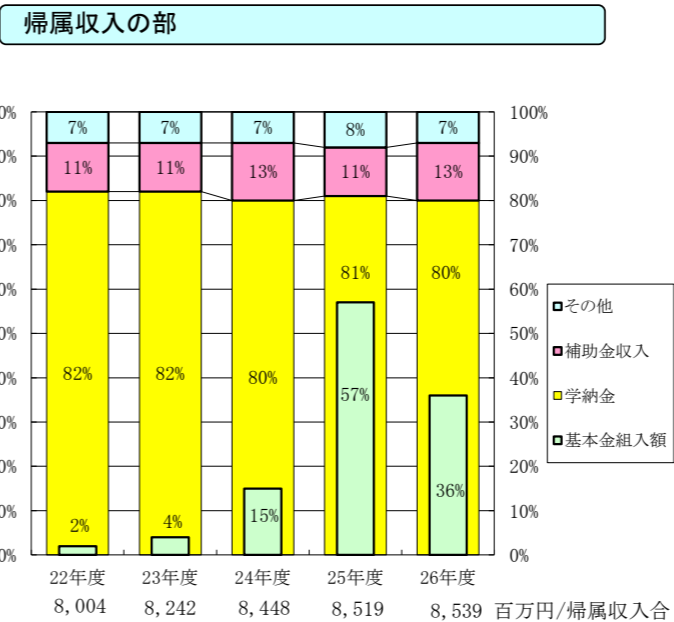
貸借対照表は、年度末における資産・負債・基本金および消費収支差額の状態を表示し
年度末時点での財政状態がわかります。

看護医療棟等の建設により有形固定資産が増加し、有価証券のうち1年以内に満期到来するものについて固定資産から流動資産に振り替えたことを主因にその他固定資産が減少しました。なお、正味財産(基本金+消費収支差額)は、27,297百万円、自己資金構成比率は84%となりました。

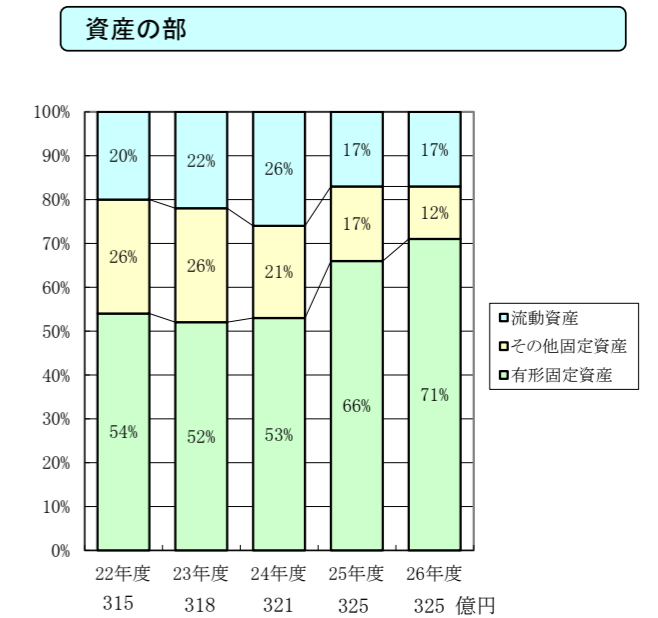
(資産の部)		(単位:百万円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
土地、建物、教育研究用機器備品等です。	27,077	26,825	252	
引当特定資産、収益事業元入金、長期に保有する有価証券等です。	23,053	21,277	1,776	
現金預金、一時的に保有する有価証券等です。	4,024	5,548	△1,524	
長期借入金、退職給与引当金等です。	5,419	5,655	△236	
前受金、未払金等です。	32,496	32,480	16	
(負債の部、基本金の部、消費収支差額の部)		(単位:百万円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	2,581	2,653	△72	
流動負債	2,618	2,483	135	
計	5,199	5,136	63	
基本金	40,280	37,193	3,087	
消費収支差額	△12,983	△9,849	△3,134	
合計	32,496	32,480	16	

5ヵ年 収支状況及び財務状況推移表

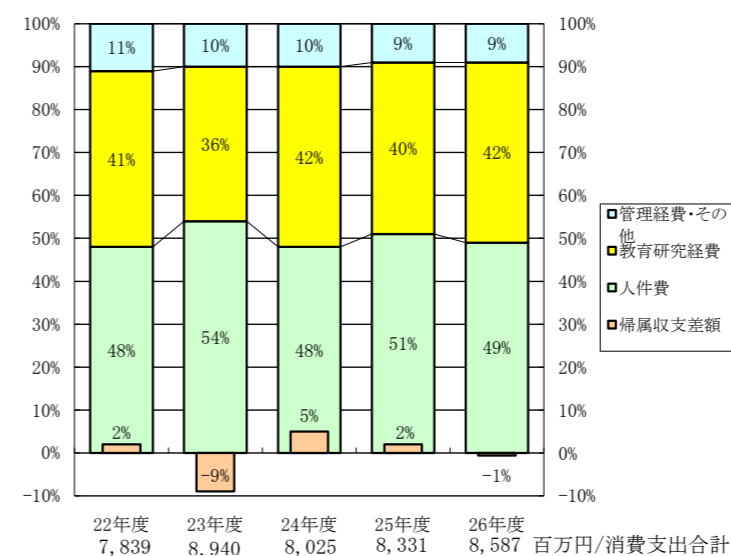
消費収支計算書(収支状況)構成比率



貸借対照表(財務状況)構成比率



消費支出の部



負債の部・基本金の部・消費収支差額の部

